

主力事業であり、さまざまな電子機器に向けてスーパーハイエンド商品、高信頼性商品をはじめとする高付加価値なコンデンサを展開しています。

2015年3月期の業績

民生機器向け、情報機器向け、通信機器向け、自動車・産業機器向けの売上が前期と比べ増加したことにより、売上高は8.3%増の1,129億3百万円となりました。

2015年3月期の主な取り組み

積層セラミックコンデンサについては、誘電体の材料技術、薄膜・大容量化技術および超小型品生産技術等を高度化し、誘電体厚みがサブミクロン(1 μ m未満)レベルでの安定量産技術を確立しました。さらに1,000層を超える多積層技術を開発し、電解コンデンサ市場を置換する商品として4532サイズ(4.5mm×3.2mm)470 μ Fの量産化に成功しました。

また、スマートフォンなどの成長機器市場に向けて0402サイズ(0.4mm×0.2mm) 0.22 μ F、0603サイズ(0.6mm×0.3mm) 2.2 μ F、1005サイズ(1.0mm×0.5mm) 22 μ F、1608サイズ(1.6mm×0.8mm) 47 μ F等の最先端商品の量産を行いました。

さらに、超小型品や超低背品にも注力し、0201サイズ(0.25mm×0.125mm)、0603サイズ薄さ0.15mm、1005サイズ薄さ0.11mmの量産も開始しています。

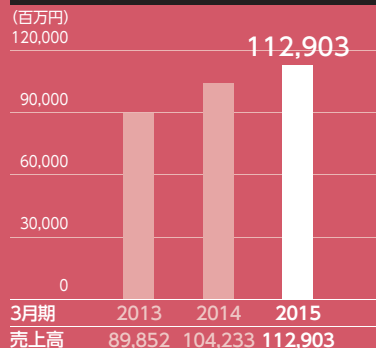
今後の取り組み

スマートフォンなどの成長機器に向け、積層セラミックコンデンサの超小型品、超低背品や各サイズにおける最先端商品であるスーパーハイエンド商品を強化していきます。

また、自動車電装や産業機器、ヘルスケア、環境エネルギーといった注力すべき市場に対しては、高品質・高信頼の商品ラインアップを強化します。100 μ F以上の大容量ゾーンにおいては、電解コンデンサを置換する商品を積極的に展開することで積層セラミックコンデンサ市場の拡大を促進し、さらなる成長を目指します。

一方、生産体制においては、子会社の新潟太陽誘電に新工場を建設するとともに、国内で生産しているハイエンド商品の海外展開を引き続き加速し、海外拠点の最大活用を図ります。また、生産効率向上のために必要な投資を行い、国内外すべての生産拠点において高効率生産に努めます。今後も、スマートフォンなどの成長機器や自動車電装などの注力市場における需要拡大に対応した生産体制の構築を図ります。

売上高の推移



主な商品

積層セラミックコンデンサ



超小型積層セラミックコンデンサ
0201サイズ(0.25mm×0.125mm)



超低背積層セラミックコンデンサ
1005サイズ(1.0mm×0.5mm)
薄さ0.11mm



小型大容量積層セラミックコンデンサ
4532サイズ(4.5mm×3.2mm)
470 μ F